

ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.41

2026年3月発行

ミャンマー国籍の特定技能生 「二十歳のつどい」に出席



▲職場の上司や同僚たちの祝福を受けて式に出席



▲会場（松任文化会館ピーノ）で受付を行うお二人

1月11日に行われた「白山市二十歳のつどい」に、市内の社会福祉法人「福寿会」の福祉施設に勤務するミャンマー出身のウェー・ピョー・トーさん（19）とエインダレー・トンさん（20）のお二人が振り袖姿で出席しました。

市から二人に「二十歳のつどい」の案内が届いた際、「ぜひ振り袖姿で参加させてあげたい」と福寿会本部事務局より市に相談があり、市民の寄付による振り袖を持つ国際交流サロンで着付けを行い、実現しました。

お二人は、去年の9月に来日したばかりで、普段は、老人福祉施設で介護の仕事に携わっています。二十歳の節目を職場の上司や同じく外国籍の同僚たちに見守られながら、「写真をたくさん撮って、ミャンマーの家族に送ります。」と笑顔で語っていました。（関連記事P5）

C・O・N・T・E・N・T・S

- ミャンマー国籍の特定技能生「二十歳のつどい」に出席 … 1
- 特集「みんなで育てる多文化共生」…………… 2～3
- 国際交流サロンのページ …………… 4～6
- HIA だより …………… 7
- HIA からのお知らせ …………… 8



▲協会の日本文化サポーターから振り袖を着付けてもらうエインダレー・トンさん（国際交流サロンにて）

にほんごカフェは、“やさしい日本語”で地域に住む外国人と日本人が交流する場です。顔と顔を合わせて、相手を名前で呼び、話してみることが、相互理解への第一歩です。現在、市内の3ヶ所で行われている「地域のにほんごカフェ」をご紹介します。
*やさしい日本語は、「みじかく、かんたんに、はっきりと」が基本です。

にほんごカフェいしかわ



▲地域住民とのスポーツ交流が一番人気
(石川コミュニティセンター)

石川コミュニティセンターで年4回開催しています。2018年1月、石川公民館（当時）で、地域に住む技能実習生たちと住民がベトナム料理で交流会を開催したことがきっかけで始まり、これまでの8年間、年4、5回のペースで開催し、参加延べ人数は外国人・日本人併せて600人を超えています。内容は、日本語での会話が中心ですが、若い外国人の皆さんはスポーツが大好きなことから、卓球、バドミントン、カローリング等のスポーツ交流が人気です。また、秋の文化祭では、外国人が母国ベトナムを紹介するポスター作りを行い、掲示しています。同コミュニティセンター主任の森みどりさんは、「地道ですが、継続して開催することが大切と思っています。顔の見える関係を築きたい。」と語っています。

にほんごカフェみなと



▲地震発生の場合、避難場所への行き方をグループワーク
(湊防災コミュニティセンター)

湊防災コミュニティセンターでは、石川地区に倣い、2022年から開催しています。2025年からは内容を一新し、湊校区長会が主体となり、今年度は年4回開催しました。毎回、区長会の太多誠会長が進行役となり、1回目は顔合わせを兼ねてゲームやクイズで交流、2回目以降は、ゲスト講師を迎え、“やさしい日本語”で、ごみの分別、交通ルール、防災・防犯について学びあいました。毎回20名を超える湊地区の事業所で働く外国人の皆さんが事業所の社長や日本人従業員、区長会役員と交流しました。太多会長は、「事業所さんの理解と協力、地区に溶け込もうと願う外国人の気持ちに支えられて、手探りしながらカフェを“開店”してきました。“メニュー”をさらに練り上げて交流を深めたい。」と抱負を語っています。

にほんごカフェ旭丘



▲燃えるごみ？資源ごみ？ごみの分別をカードで学ぶ
(旭丘団地協同組合事務局会議室)

旭丘団地協同組合との共催事業により、今年度、初めて開催しました。11月30日（日）、事前に申し込みのあった2社の事業所から中国、ベトナム、インドネシア出身の5名が参加しました。国際交流サロンから日本語サポーターと職員が参加し、2グループに分かれて、母国のごみ分別について会話をした後、ごみの分別の大切さについてカードを使って学びました。母国では、「ごみは分けない」、「各自で売りに行く」等とのことで、日本のルールは難しいと話していました。

同協同組合の岡田和典事務局長は、「組合内の事業所でも外国人就労者が増加しており、生活面のルールの順守や日本語習得が課題となっています。交流の機会として今後も継続していきたい。」と語っています。

多文化共生ワークショップで意見交換

市では、令和2年10月に「多文化共生のまちづくり推進指針」を策定し、日本人住民と外国人住民とが互いに安心して住むことができるまちづくりを推進しています。

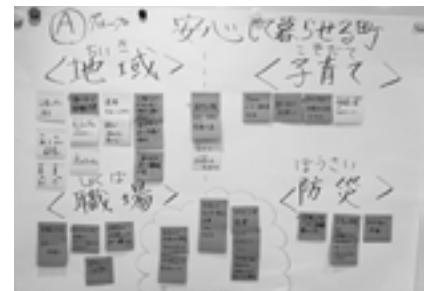
12月14日、日本人・外国人住民と一緒に住みよいまちづくりを話し合う場として、「多文化共生ワークショップ」を国際交流サロンにて開催しました。ワークショップでは、子育てや防災などの観点から、「日本人も外国人も安心して暮らせるまちとは？」というテーマで5つのグループに分かれて話し合いました。



当日は、外国人コミュニティリーダーや市内で働く実習生など8か国16名の外国人住民と、町内会長等地域で多文化共生に関わる日本人住民が参加しました。

ワークショップでは、「地域」「子育て・学校」「職場」「防災」の4つの分野で、良いところや困っていることについて意見を出してもらいました。最後は時間が足りなくなるグループもあるほど、皆さんから活発な意見が出されました。

最後には各グループが出た意見の発表を行い、県内で外国人支援に取り組んでいるNPO法人YOU-Iのスタッフから「お互いの理解や歩み寄りの気持ちが大切」との講評をいただきました。



ワークショップで出た意見

白山市に住んでいて良いところ

- 海も山も近く、自然が豊か
- 祭りがたくさんあって賑やかで良い、伝統文化がたくさんある
- 近所の人があいさつしてくれる
- 店員さんやお隣さんが優しい
- 地域の行事に参加すると若いので喜んでくれて嬉しい
- 国際交流サロンで日本語が学べてよかった



白山市に住んでいて困っていること

- 車が無いと移動が不便
- 雪が降ると大変
- 災害情報が上手く理解できない
- 車が無いので避難に不安、日本人と助け合えたら良い
- 子育てに関する情報収集が難しい
- 地域のイベントのお知らせや、ルールについての情報が欲しい



白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00 (土日は8:45～17:30)
 休館日 月曜日 (月曜日が祝日も休館)、祝日
 場 所 〒924-0872 白山市古城町2 (松任文化会館ピーノ2階)
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP https://hia-salon.jp/
 国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE 公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



最近の日本語クラス

サロンで日本語を勉強している外国人主婦の皆さんは、少し日本語が話せるようになると仕事に就く人が多く、その行動力、たくましさに関心します。久しぶりに顔を出してくれると日本語が上達していて、また驚きです。そして、子育てが一段落し、時間に余裕ができると、もっと上手になりたいと勉強を再開する人もいます。ブラジル人のSさんも昨年12月から再開しました。日本語能力試験N3を持っているSさんですが、まだまだ知らない言葉も多く、漢字、敬語も勉強したい、丁寧な言葉を使いたいと意欲的です。「日本語サポーターTさんとの勉強はとても楽しい。この時間を毎週楽しみにしている。」と話してくれました。リラックスした雰囲気の中での勉強は気持ちほぐれ、Sさんにとって大切な時間になっているようです。「勉強したい時が学び時！」その気持ちに応えることがサポーターの喜びとやり甲斐につながっています。



▲勉強を再開したSさん(右)と日本語サポーターのTさん(左)



▲ベトナム人主婦たちのクラス



▲ロータリクラブ留学生のクラス

出張型企業日本語教室スタート

一般社団法人石川県鉄工機電協会から国際交流サロンに日本語講師派遣の依頼があり、現在、日本語サポーター1名が2社で働く外国人に月2回、企業に出張し、勤務時間終了後に日本語を指導しています。企業側の目的は、一緒に働く日本人とコミュニケーションが取れること、日本語の学習意欲を持ってもらうことです。4月からは、さらにもう1社への講師派遣が決まっています。

外国ルーツ児童生徒の日本語指導

外国にルーツを持ち学習支援が必要な児童生徒に対して、市・教育委員会との連携により、協会の日本語サポーターを小中学校に派遣し、個別指導を行っています。現在、対象児童は4名の小学生で2名のサポーターが活動しています。写真は、インドネシア国籍のアズキアさんとマシェルさん姉妹で現在5年生と3年生です。普段は、週に1回、1人ずつの個別指導ですが、この日は合同授業で、食べ物カードを使い「日本語で説明しよう！」がテーマでした。姉のアズキアさんは、「わからないところをわかりやすく説明してもらえて、どんどん覚えていける。」と、妹のマシェルさんは、「授業が楽しい。」といきいきとした表情で話してくれました。二人を指導して三年目のサポーターのYさんは、「日本語が上達するにつれ、どんどん友達も増え、クラスの中に入っていき、成長が著しい。」とうれしそうに話していました。



▲食べ物カードを使って、表現の語彙を増やす練習を行っている様子(市内小学校にて)

“外国人の声” コーナー



フィンティ タイン マイさん

2019年技能実習生として来日し、市内の老人介護施設「福寿園」に勤務。3年間の後、特定技能に切り替え、2024年、介護福祉士の国家試験に合格し、晴れて「介護」の在留資格を取得。28歳。

介護の仕事にやりがい

私はベトナムの南部、ヴィンロン省の出身です。医療系の専門学校を卒業し、日本語を1年間学び、2019年5月8日に来日し、こちらの福寿園で働いています。今年の5月で丸7年が経ちます。施設長はじめ同僚の皆さんがとても親切で、何でも相談できるのでここで働けて幸せです。

来日当初は、習った日本語と全く違う方言を理解できず、利用者の方々の行動を見て介護にあたっていました。今は、利用者さんの言われている言葉を理解し、希望に沿った対応ができるようになりました。

ベトナムでは、介護は家族の役割です。大家族なので、日中の介護が必要な場合は、家族の誰かが仕事を辞めてお世話をします。一方、日本では、専門性の高い介護を受けられるという点では、良い点だと思います。私も、介護福祉士となり、利用者一人ひとりにあった介護計画を立てながら、ケアサービスを行っています。施設のおじいちゃん、おばあちゃんに「よく頑張っているね。」と頭を撫でてもらうことがあり、心が落ち着き、やりがいを感じます。

今年の目標は、日本語能力試験N1(1級)に挑戦し、合格することです。そして、近い将来、ベトナムの両親を日本に招待し、桜や紅葉の美しい風景を見せてあげたいです。



福寿園施設長 端 久美さん

現在、当園にはパートの方を含め52、3人の介護職員がいます。その内の11人がベトナムとミャンマー籍の職員で、貴重な人材です。外国籍の方々はどうしても、就職後1、2年経つと、お給料の高い都会へ行ってしまいう傾向がある中、マイさんは今年8年目であり、外国人初のユニットリーダー(専門職)として期待されています。彼女を含め、アジア圏の若者は概して、かつての日本人がそうであったように、謙虚、一生懸命、思いやり等の言葉がぴったりの働きぶり、日本人が忘れたものを教えてくれています。

◎サロンのダイアリー

11月2日(日)

日帰りバスツアーで小松方面を訪問
【写真左上】

11月8日(土)

白山市商工会議所女性会(田中和子会長)より食料生活応援セットのご寄付【写真右上】

11月13日(木)

鶴来中学校国際理解講座で外国人3名が講師として母国紹介

11月16日(日)

日本人・外国人バドミントン大会で多国籍試合を開催

11月21日(金)

宮本剛協会副会長が県国際交流・協力功労者表彰を受賞

1月18日(日)

日本語サポーターと学習者が集う新年交流会を開催【写真左下】

2月1日(日)

多文化カフェ「旧正月編」を開催【写真右下】



▲バスツアーはゆのくにの森へ



▲市商工会議所女性会田中会長(中央)と実習生の皆さん



▲サロン新年交流会でビンゴゲーム



▲多文化カフェで上海ワントンづくり

『はくさん国際交流まつり2025』 10月19日(日)開催

今回は、EXPO2025 大阪・関西万博開催に因んで「お国」の紹介ブースが登場しました。担当したのは、市のALTや外国籍住民の方々です。皆さんうれしそうに母国を紹介し、来場者と交流を楽しんでいました。当日は、会場の国際交流サロンに来るのは初めてという方も含め、約900人が足を運び、大盛況の1日となりました。

お手伝いしていただいた協会サポーターの皆さん、ご協力ありがとうございました!!

外国人と交流ブース

友好都市中国遼陽^{りょうりやう}市人民政府のご厚意で、観光地のスタンプやパンダマグネットなどたくさんの市オリジナルグッズがまつりのために届きました。謝々（シェイシェイ）!!



▲ベトナムブース ベトナムクイズに挑戦!



▲中国ブース 縁起のいい漢字を「拓印」



▲ハロウィンメイクやタトゥーシール体験



▲イギリスブース 紅茶の試飲が大人気



▲アメリカブース 来場者と英語でTALK!



▲英語、イタリア語、タイ語、韓国語でおしゃべり交流「わいわいカフェ」

子ども向けワークショップ・青少年ホームステイ交流体験発表



▲ALTによる英語絵本の読み聞かせ



▲小学生対象「ハロウィンデー」でALT達と駅前を仮装パレード♪



▲2025年夏に英国ボストン町訪問の中学生と豪州ペンリス市訪問の高校生による体験発表会

体験・ステージ発表・販売コーナー



▲毎年大人気の民族衣装体験



▲みんなで踊ろう! フィリピンダンス



▲能登復興応援! 穴水町の北川さん出店

H.I.A. だより

Let's enjoy! 英語でクリスマス

12月6日

今回で3回目となる本イベントは、例年小学4～6年生を対象としていましたが、今年から小学1～3年生も参加できるようになりました。外国語指導助手（ALT）や国際交流員が内容を企画し、簡単な英語を使って、クリスマスをテーマに活動し、参加した38名の児童はクリスマスの文化に親しましました。

外国のクリスマスの過ごし方についてお話を聞き、「サンタさんに準備する食べ物は何?」「サンタさんの笑い声は?」など、サンタクイズを楽しみました!



クリスマスに関するものが描かれたカードを見ながら、英単語を言って進んでいき、じゃんけんで勝負! チーム戦で盛り上がりました。たくさんの英語を覚えたよ!



ツリーやベルを型取った木材で、毛糸を使ったクラフトに挑戦。オリジナルのオーナメントの出来上がり!



最後はサンタさん登場のサプライズで、お菓子のプレゼント! 英語にも親しんだ、楽しいクリスマスの思い出になりました!

1～3年生は、木の板に色塗りをし、かわいいオーナメントを作ったよ!

親善友好都市グリーティングカード交換事業 松南小学校にて

1月20日

昨年夏に、松南小学校の5・6年生が、海外の親善友好都市の小学生に英語のグリーティングカード送ったところ、4ヶ国の友好都市から計190通のお返しのカードが届き、各国のお国柄や文化が紹介されています。カードには、質問に対する返事や、「日本が大好きです!」といった温かいメッセージが書かれており、受け取った児童たちは、「もっと英語を勉強したいと思った」、「仲良くなれた感じがうれしい」と海外から届いたカードを喜んでいました。



市国際交流員ニ科尔さんや協会職員の山村テイさんからカードの英語や中国語を教えてくださいました。



お国柄が表れているグリーティングカード
左は中国瀋陽市から、右はドイツラウンハイム市から

石川県スタディーツアー参加のインドネシア大学生3名が市内でホームステイ体験

今年度、インドネシアからの大学生、台湾からの中高生が来日し、市内で2泊3日のホームステイ体験を行い、草の根交流が図られています。これは、県内で海外人財事業に取り組むYOU-I JAPAN（ユーアイ・ジャパン）と当協会とのホームステイ事業における連携協定に基づく受け入れです。

同社は、アジア圏の若者を対象に、石川県での就職・定住をねらいとした「石川県スタディーツアー」を実施しており、県内の観光や大学・企業の視察を行っています。

去る1月末に、インドネシアの大学生3名が同ツアーで石川県を訪れ、本市には1月27日～29日の2泊3日のホームステイ体験を行いながら、一里野温泉スキー場を訪れました。初めて見る雪に大興奮し、雪遊びの後は、ハラル（※）対応の炉端焼きを楽しみました。



一里野でハラル対応の食事を堪能したインドネシアの大学生たち

（※）豚肉・アルコールを避け、イスラム法に則って食材・調理法を用いた食品

H.I.A.からのお知らせ

令和7年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ
2	(株)浅野太鼓楽器店
3	石川情報交流事業協同組合
4	(株)EIZO
5	エス・ディ・エス(株)
6	(株)加藤建設
7	協和道路(株)
8	近畿日本ツーリスト(株) 金沢支店
9	学校法人 金城大学短期大学部国際地域共生センター
10	グランドホテル白山
11	弁護士法人 兼六法律事務所 白山事務所
12	(株)三光製作所
13	(株)車多酒造

No.	名 称
14	(株)スノーエアマネジメント白山
15	専門学校ファースト学園金沢校
16	千代野建設(株)
17	(有)ソクダ自動車
18	鶴来商工会
19	鶴来ライオンズクラブ
20	手取川七ヶ用水土地改良区
21	トウエイ工業(株)
22	東武トップツアーズ(株)金沢支店
23	(株)トスマク・アイ
24	(株)永瀬商事
25	ニッコー(株)
26	西山産業開発(株)

No.	名 称
27	(株)日本旅行 金沢支店
28	能登印刷(株)
29	白山石川ロータリークラブ
30	白山市北消防団
31	白山市スポーツ協会
32	白山市町会連合会
33	白山市日本中国友好協会
34	白山市文化協会
35	白山商工会
36	白山商工会議所
37	はくさん信用金庫松任店
38	白山ロータリークラブ
39	(株)羽田合金

No.	名 称
40	ピッツェリア デিজィオア
41	(有)フジタ印刷
42	北國観光(株)
43	松任市農業協同組合
44	松任ライオンズクラブ
45	(株)マップ
46	美川商工会
47	美川ライオンズクラブ
48	NPO法人 YOU-I
49	(株)六星

米国コロンビア市高校生 ホストファミリー募集!

姉妹都市コロンビア市高校生が6月6日～18日に来市するにあたり、ホストファミリーを募集します!

期間中は国際高等専門学校白山麓キャンパスにて授業体験、寮生活を行います。ホームステイは週末の2泊3日です。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

ホームステイ期間:

6月13日(土)夕方～

15日(月)朝(2泊3日)

コロンビア市生徒:

高校生6名

(男子3名、女子3名)

【お問い合わせ・お申し込み: 国際交流サロンまで】



▲昨年のコロンビア市高校生たち

ホームステイサポーター登録に ご協力お願いします

アジア圏の若者が参加する石川県スタディツアーでホームステイのニーズが増えています。

受け入れは基本的には週末の2泊3日程度で内、1日はホストファミリーと過ごしていただきます。参加者のほとんどは、日本語を学んでいる、あるいは、将来日本での留学、就職に関心があります。

今年の夏には、台湾、タイからの高校生の来市が予定されています。ホームステイは、ご家庭で気軽にできる国際交流です。

ぜひ、ホームステイサポーター登録にご協力をお願いします。

【お問い合わせ・お申し込み: 国際交流サロンまで】



▲去る1月、市内でホームステイしたインドネシアからの大学生(国際交流サロンにて)

CIR(国際交流員)派遣制度を ご活用ください

市民や市内の団体が取り組んでいる事業にアメリカ出身のニコル・ナビティー国際交流員を派遣します。「アメリカ紹介」「外国人の視点が聞きたい」等、団体やグループの国際交流・多文化共生推進にご活用ください。

派遣申込みについては、市の都市交流・多文化共生課HPよりご覧になれます。

国際交流員ニコルのアメリカ通信

アメリカの季節のイベント等を紹介しています。右の二次元バーコードよりご覧ください!



協会のイベント情報 & お知らせ配信中! /

【メール会員】

misalon@asagaotv.ne.jp
へ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。

【LINE友達追加】

こちらの二次元バーコードから追加できます。



編集後記

ミャンマー国籍の女性お二人の振り袖の着付けにサロンが協力したことがきっかけで、同じ福寿園で働く先輩のベトナム国籍の介護士マイさんの取材の機会を得た。流暢な日本語を話し、澄んだ瞳で真摯に答える彼女の誠実な人柄に感銘を受けた。マイさんのように、一生懸命、日本で働く外国人ひとり一人に目を向け、感謝と共生の意識を育んでいきたい。(サロン)

発行 ■ 白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)
事務局 / 白山市役所観光文化スポーツ都市交流・多文化共生課
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp
白山市国際交流サロン
TEL・FAX076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp